



01 市長および市議会議員選挙が執行

10月25日、市長および市議会議員選挙が執行されました。市長選挙には4人が立候補し、田中良二氏が初当選。また、市議会議員選挙には33人が立候補し、9人の初当選者を含む26人が当選しました。なお、11月6日、岩切秀雄市長が任期満了により退任され、多くの関係者に見送られながら市役所を後にしました。



令和2年 主な出来事

このコーナーでは、昨年1月から12月までにあった主な出来事を、抜粋して掲載します。



コロナ禍の克服と薩摩川内の未来創生に向けて



薩摩川内市長 田中良二

令和3年の新春を迎え、謹んで新年のお祝辞を申し上げます。

昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大による市民生活や社会経済活動への影響は大変甚大であり、私たちは国難のさなかにあります。新型コロナウイルスへの対応については、広く市民の声に真摯に耳を傾け、また、国・県の取組状況などを見極めつつ、適宜的確な対応を講じてまいります。

昨年11月には、防災に関わる専門家の意見を今後の防災対策に生かしていくため「薩摩川内市防災対策有識者会議」を設置しました。急激な集中豪雨や強い勢力に発達する台風などに的確に対応できる「災害に強いまちづくり」を目指し、具体的な検討を進めてまいります。

コロナ禍の大変厳しい状況にありますが、本市の中・長期的な展望に目を向けますと、今年、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた準備が政府の強い決意により進められており、本市においても、その準備状況を見極めつつ、既に受け入れを合意した男子バレーボールアルゼンチン代表チームの事前キャンプ実現に向けた具体的な調整を進めてまいります。また、全国市町村交流レガッタ大

会や鹿児島県茶業振興大会薩摩川内大会についても実施に向けた調整を行っています。

さらに、本県では令和4年度には第12回全国和牛能力共進会が、令和5年度には鹿児島国体と全国障害者スポーツ大会が開催され、令和6年度は市制施行20周年の節目の年を迎えます。

また、1月には本市の中核的な交流拠点となる「SSプラザせんだい」がオープンし、隣接するホテル・商業施設についても8月のオープンを目指して事業が進められており、さらに南九州西回り自動車道の阿久根川内道路、川内川の市街部改修や河口部の高潮対策、川内港の港湾整備などの国家的事業についても進行しています。

本市が有するこれらの発展のチャンスとポテンシャルを生かし、「コロナ禍の克服」と「薩摩川内の未来創生」に向け、積極的に取り組んでまいります。

最後に、市政全般にわたりまして、今年も市民の皆さまの格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。併せて、皆さまにとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

03 甑大橋開通！ 開通式典・ウォーキング大会



8月29日、甑島島民の悲願であった甑大橋が開通し、上甑島・中甑島・下甑島が陸路で一つに結ばれました。当日は「甑大橋開通式典」が開催され、地元伝統芸能のオープニングセレモニーや関係者あいさつの後、親子三代渡り初めや車両渡り初めが行われ、橋の開通に花を添えました。開通前の8月23日には、プレイベントとしてウォーキング大会が開催され、島民500人が海風を浴びながら橋上を歩き、完成の喜びを分かち合いました。

また、8月18日に平良トンネルおよび甑大橋防災対策の一環として、消防局と各関係機関合同で防災訓練を実施。救助、消火活動はもとより、関係機関相互の情報伝達要領、災害現場付近の交通規制、誘導などそれぞれの活動を検証する訓練となりました。



02 第2次薩摩川内市総合計画後期基本計画 第2期薩摩川内市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定



令和2年度を始期とする「第2次薩摩川内市総合計画後期基本計画」を策定しました。今回の総合計画においては、人口減少対策の一体的な推進を図るため、総合戦略を統合するとともに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進するため、各施策とSDGsの関連付けを行いました。今後もさらに持続可能で魅力的なまちづくりを進めていきます。